

一、左の例はAスーパーの広告から読み取ったことをかじよう書きであらわしたものです。
(1) 例にならってBスーパーの広告から読み取ったことをかじよう書きで書き出しましょう。

例

Aスーパー広告
和歌山県産
みかん 1こ 20円
お一人様15こ限り



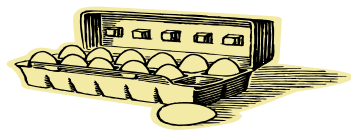
<広告から読み取れること>

- ・このみかんは、和歌山県産である。
- ・このみかんは、1こ20円である。
- ・このみかんは、一人15こまでしか買えない。

Bスーパー広告

5月7日(土)限り
タイムセール 午前10時～午前11時

たまごLサイズ 1パック 10個入り 98円



一家族1パック限り

<広告から読み取れること>

(2) Bスーパーの広告の中の絵と、内容とが合わないところがかしよあります。文章に書いて説明しましょう。

二、次の文は、千年ぐらいまえに、清少納言という名前の女性が書いた、随筆(ずいひつ)と呼ばれる文章です。
千年前の言葉で書かれていますので、今の言葉にすると、下の文章のようになります。

枕草子

清少納言

春はあけぼの。
やうやう白くなりゆく山ぎは、すこし明かりて
紫立ちたる雲の細くたなびきたる。
夏は、夜。
月のころはさらなり。
闇もなほ、螢の多くとびちがいたる、ただ一つ二つなど、
ほのかにうち光りて行くも、をかし。
雨など降るも、をかし。

秋は、(あ)。
.....

今の言葉にすると.....

春は夜明けがよい。
だんだん白くなっていく山のきわが、少し明るくなって、
むらさき色の雲が少したなびいているのが良い。

夏は、夜が良い。
月の出るころは、言うまでもない。(月の出ない)闇の夜も、
ほたるが多く飛んでいるのも、また、一匹、二匹が、かすかに
光って飛んでいくのもなんとも言えず良い。

秋は、(い) (あ) (か)が良い。

(い)

()

(1) あなたが、(あ)にふさわしいと考えることばを書きましよう。

--

(2) 「秋は(あ)がよい。」に続く文章(い)を三十字以上書きましよう。

--

三、小学校五年生のはなこさんが一年生の時からかわいがっていたねこのタマが、いなくなっていました。はなこさんは、近所の人にタマを見かけなかったか聞いて回り、メモにまとめました。
 近所の人の話のメモを読んで、次の問題に答えましょう。

話のメモ①
 首にピンク色のリボンを巻いたタマは、小学校の近くを歩いていた。

話のメモ②
 タマは、真つ白なねこで、はなこの家でたいへんかわいがられており、近所の人気者でもある。

話のメモ③
 首にピンク色のリボンを巻いたタマは、七夕の日の昼ごろ、公園のベンチの下で、すやすやとねむっていた。

話のメモ④
 タマは、ビスケットも好きだが、とくまるスーパーの魚の干物も大好きだ

話のメモ⑤
 七月六日の午後三時ごろ、タマは、はなこの家の向かいの田中さんから、ピンク色のリボンを首に巻いてもらった。

話のメモ⑥
 タマは、七月五日の夕方五時ごろ、はなこの家の庭でねむっていた。

(1) タマの居場所を探そうえで、大切な話のメモを四つ選び、番号で答えましょう。

(2) (1) で選んだ大切な話のメモ四つを、時間の順に沿ってならべかえましょう。

(3) はなこさんは、もう一度タマを探しに出かけようと思いますが、どこを探すと良いでしょう。四つ書きましょう。

四、もうすぐ、花屋が開店するので、店の人はお知らせのポスターをかくつもりです。次の会話を読んで、あなたもポスターをかいてみましょう。

「ついに3月7日(日)にお店が開店するわね。」

「やっと、ここまで来たね。やっぱり場所はスズラン駅前にしてよかったね。開店時間は、8時だったかな?お客さんが、来てくれるか心配だね。」

「開店時間は、確か9時だったはずよ。あなた、しっかりとね。定休日の水曜日以外は、営業時間は、午前9時から午後5時までにしてようって決めていたじゃないの。それから、開店の日はお客さんが、来てくれるようにプレゼントをあげたらどうかしら。」

「それは、いい考えだね。ハーブの種をあげることにしよう。ぼくたちの店は、自然に道ばたに咲いているような素朴な花でいっぱいになりたいよね。雑草のように見える花の美しさを知ってもらいたいね。」

「ええ、いいわね。「たんぽぽ」って店の看板を見ていたらわくわくしてきちゃった。さあ、はやく開店のポスターをかきましよう。」

わたしのかいたポスター

(店名)

開店

()は 午後5時まで

定休日()

開店当日
 ハーブの種を
 プレゼント!

ポスターのじょうけん

○ 大事な情報をきちんと選んでポスターの□に入れましょう。

○ 店のキャッチコピー(宣伝文句)をふきだしの中に書きましよう。